

疑問や反対、不安の声多く  
オンデマンド(乗り合いタクシー)

「強行するな！」

7月から大和で実施?!

既存バスは9:30~17:30運休?!

市は、第2次川西市総合戦略の3つ目に位置付けられたすべての市民が安心して暮らせる「安全で安心して暮らせるまちづくり 地域公共

2月19日(水)から3月定例会・予算議会がはじまります。12日の議会・代表者会で越田謙治市長の施政方針と当初予算の概要が説明され、「オンデマンドモビリティ・乗り合いタクシー」については、7月から実証実験を実施予定だと2055万円の予算が計上されています。

市は、第2次川西市総合戦略の3つ目に位置付けられたすべての市民が安心して暮らせる「安全で安心して暮らせるまちづくり 地域公共

大和循環バス運行に一生懸命取り組んでこられた方が、「乗客も増え、料金改定なども視野に入れてがんばってきたのに、なぜバス運休なのか...」と憤りを隠せず発言しました。当然のことです。

また、高齢の方がアプリ使用や事前登録などのイメージが湧かないのは当たり前。スマートフォンや携帯を持たない方の不安があるのもうなずけま

大和バスなくすな!  
乗合いタクシーの車は「購入?リース?寄付?」、タクシー会社へ人件費を払う予定(タクシー1日借上げ分程度)です。まだルートや料金も決まっていないので、何台?何人分?などは6月議会の補正予算での計上になります。(新年度予算には入っていません)

川西市って、財政が厳しいと

「健幸」膨張8600万円  
例えば高齢者が増えて財政が圧迫されるからと廃止になった「高齢者お出かけ促進事業(最終年度予算5400万円)」。替わりにはじまった「健幸マイレージ」は当初の1400万円程から新年度は8615万円まで膨れ上がっています。主な内容は、①データ処理など全てを担う合同会社への委託費7881万円(ポイント還元分含む)。②万歩計など消耗品費385万円。③チラシ配布など手数料287万円。

市が進める「民間活用」「民間委託」には大きな落とし穴が潜んでいるのではないだろうか。

膨らむ委託料  
何でも民間活力の利用というけれど、民間企業に支払われる委託料がどう使われているのか詳細はわかりません。例えば、「健幸」マイレージでデータ分析などのために支払われる委託料は毎年上昇し、来年度は7881万円。それが適正かどうか検証できないのです。

国崎クリーンセンター・リサイクルプラザ  
貸室有効活用も提案

私(黒田)は、組合議会の一般質問において、2009年に33億9622万円もかけて完成させた、リサイクルプラザ(延床9372㎡)の貸室が、ほとんど使用されていないこと。使用促進のために車・自転車など交通手段の確保や料金値下げ・無償化、市町の図書館とのコラボなど、循環型社会の発展のための具体的施策を提案しました。

(たんぽぽだより209号裏面 表①参照)

建設する時には良いことばかり並べますが、交通手段がないことは当初からの課題。ずっと改善を求めてきましたが、この実態です。

アステ市民プラザ・ルーム4なら1時間560円、川西市市民活動センター・会議室Aなら420円、キセラ・大会議室880円、スタジオA450円。住民に活用してもらい市町の財政にも寄与する生きた税金の使い方を追求すべきです。しっかり注視していきましょう。

交通の新しい仕組みづくりの推進」の具体化としています。

疑問に答える約束

しかし、この「乗り合いタクシー」計画は1月25日に大和団地で初めて説明会が開かれたばかりで、2月9日の「みんなの交通検討会」でもさまざまな疑問や懸念、反対の声が出されました。これらの声に対する回答を次回示される予定ですが、住民への情報提供・説明責任、住民の声や願いを聴くということが十分とは言えない状況です。今後、2月23日に検討会、3月にも2回追加で検討会を開く予定ですが、確実に影響を受ける大和以外の東谷地域や影響がないとは言えないグリーンハイツへの説明会は予定もされていません。

「実験終了後は?」  
「実験終了後にバスは再開するのか」に回答はありません。「住民の意見を聞かずに強行するのは病院の進め方と同じではないか。」「オンデマンドをやりますという決意表明に聞こえる」と心配や憤りの声もありました。

交通予算3765万円

さて、新年度予算(公共交通支援事業)3765万6000円の主な内容は、①阪急バスへの補助金1534万9000円(実証実験の間も払います)。②実証実験の調査・検証のためのコンサルタント委託料2000万円。③55万円はチラシ代。

タクシー業者にも

乗合いタクシーの車は「購入?リース?寄付?」、タクシー会社へ人件費を払う予定(タクシー1日借上げ分程度)です。まだルートや料金も決まっていないので、何台?何人分?などは6月議会の補正予算での計上になります。(新年度予算には入っていません)

交通費補助削り

参加者は新年度で約380人。新規加入者は100円、アプリだけの利用者は500円の費用がかかります。参加者のデータは収集、分析され、「健幸」事業に生かされます。国民健康保険の情報もデータの中に入れるようになるかも知れません。

膨らむ委託料  
何でも民間活力の利用というけれど、民間企業に支払われる委託料がどう使われているのか詳細はわかりません。例えば、「健幸」マイレージでデータ分析などのために支払われる委託料は毎年上昇し、来年度は7881万円。それが適正かどうか検証できないのです。

ブログやFBで、  
タウンミーティングや検討会  
などの「黒田メモ」掲載中!  
ぜひ、ご覧くださいね

